

札幌市豊平区

持続可能な町内会を考えるシンポジウム

話題提供

2023年11月14日

酒本 宏

全国1000近い町内会・自治会の皆さんと意見交換

酒本 宏 (さけもと ひろし)

- 株式会社KITABA 代表取締役
- 株式会社Glocal Design (グローバルデザイン) 代表取締役
- 技術士 (都市及び地方計画部門・総合監理部門)
- 北海道大学工学部非常勤講師 (コミュニティデザイン)
- 北海学園大学非常勤講師
- 札幌市 まちづくりセンターアドバイザー
- 全国商店街支援センター・アドバイザー
- 一般社団法人 北海道観光を考えるみんなの会 事務局長
- 札幌市内の町内会の総務部長

プロジェクト(市民自治・コミュニティデザイン関連のみ)

- 2005年 札幌市市民活動促進条例策定支援(市民まちづくり活動促進条例)
- 2006年 札幌市自治基本条例に関連した子どもワークショップ
- 2007年 「区民協議会のあり方等に係わるアドバイザー会議」運營業務
- 2008年 市民まちづくり活動基本計画策定支援
- 2009年 市民による集中評価会議コーディネーター
- 2011年 まちづくりセンター機能PRによる市民活動促進事業
- 2012年 地域力強化に向けた総合サポート事業企画運營業務
- 2013年 町内会による加入促進活動支援事業企画運営
- 2014年 札幌市や仙台市、函館市、千歳市、上富良野町、滝川市、砂川市などで町内会活性化関連の講演などを多数
- 2020年 札幌市町内会アドバイザー派遣業務(継続中)
- 2021年 横浜市瀬谷区、埼玉県戸田市、斜里町で講演
- 2022年 岩見沢市社会福祉協議会、仙台市、宇都宮市(4回)砂川市・斜里町などで講演
- 2023年 札幌市豊平地区町連、岩内町、大阪市(職員)、福岡県久留米市、仙台市、古平町、函館市(職員) で講演とワークショップの実施
予定:大阪府堺市、埼玉県戸田市、岩手県盛岡市、北広島市、余市町

著書

- 道の駅／地域産業振興と交流拠点 編集・共著
- 「集落営農」／農山村の未来を拓く 共著
- 「ご当地ラーメン」の地域ブランド戦略 共著
- 「エコタウン」が地域ブランドになる時代 共著 など

今日の話題

1. 町内会の価値と必要性
2. 豊平区の町内会
3. 町内会を取り巻く現状と課題
4. 担い手不足の要因とその対応

1. 町内会の価値と必要性

町内会の価値

地域の価値を高める



住んでみたいまち
住み続けたいまち

安心・安全なコミュニティ
適度な人のつながりと交流
災害時の助け合い
楽しい暮らし

地域コミュニティの中核となる町内会

- まちづくりや環境評価などでその効果を貨幣換算できない時に使う「**ヘッドニック法**」をヒントにすると、町内会などの活動の価値は以下のように考えることができます。
- 町内会活動によってごみステーションの管理はもちろん、清掃や花植えなどの交流が行われ、不動産価格が周辺地域に比べ1,000円/坪高いと仮定します。
- その時の町内会活動が生み出す価値
80坪(会員の住宅平均坪数) × 1,000円/坪 × 50世帯 = 400万円



町内会活動は目に見えないだけで地域の価値を高めています

●地域の価値が高い横浜市港南区美晴台地区



<https://www.townnews.co.jp/0112/2020/07/16/534731.html>

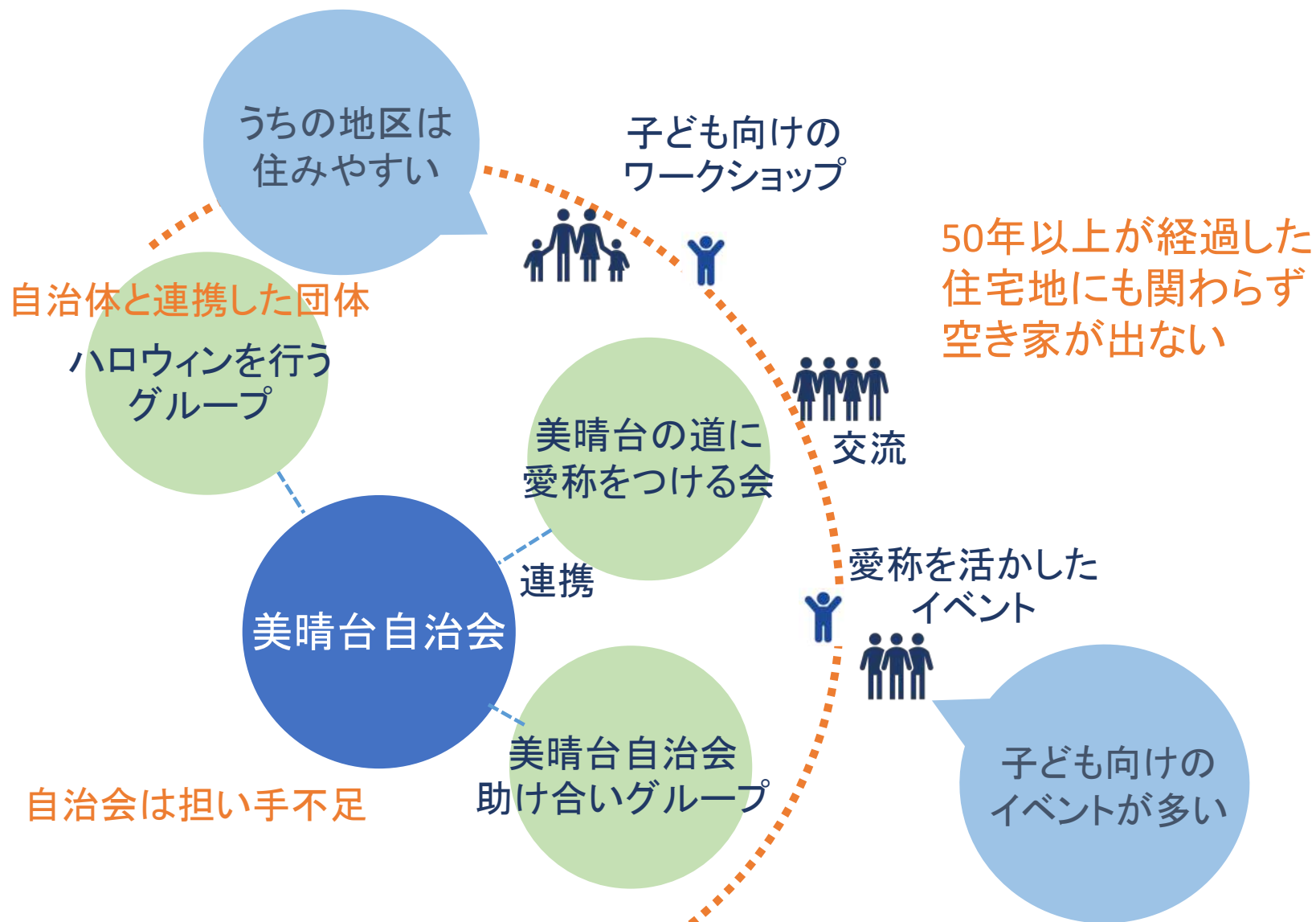


<https://www.townnews.co.jp/0112/2016/11/03/355643.html>



<https://miharudai.exblog.jp/24853481/>

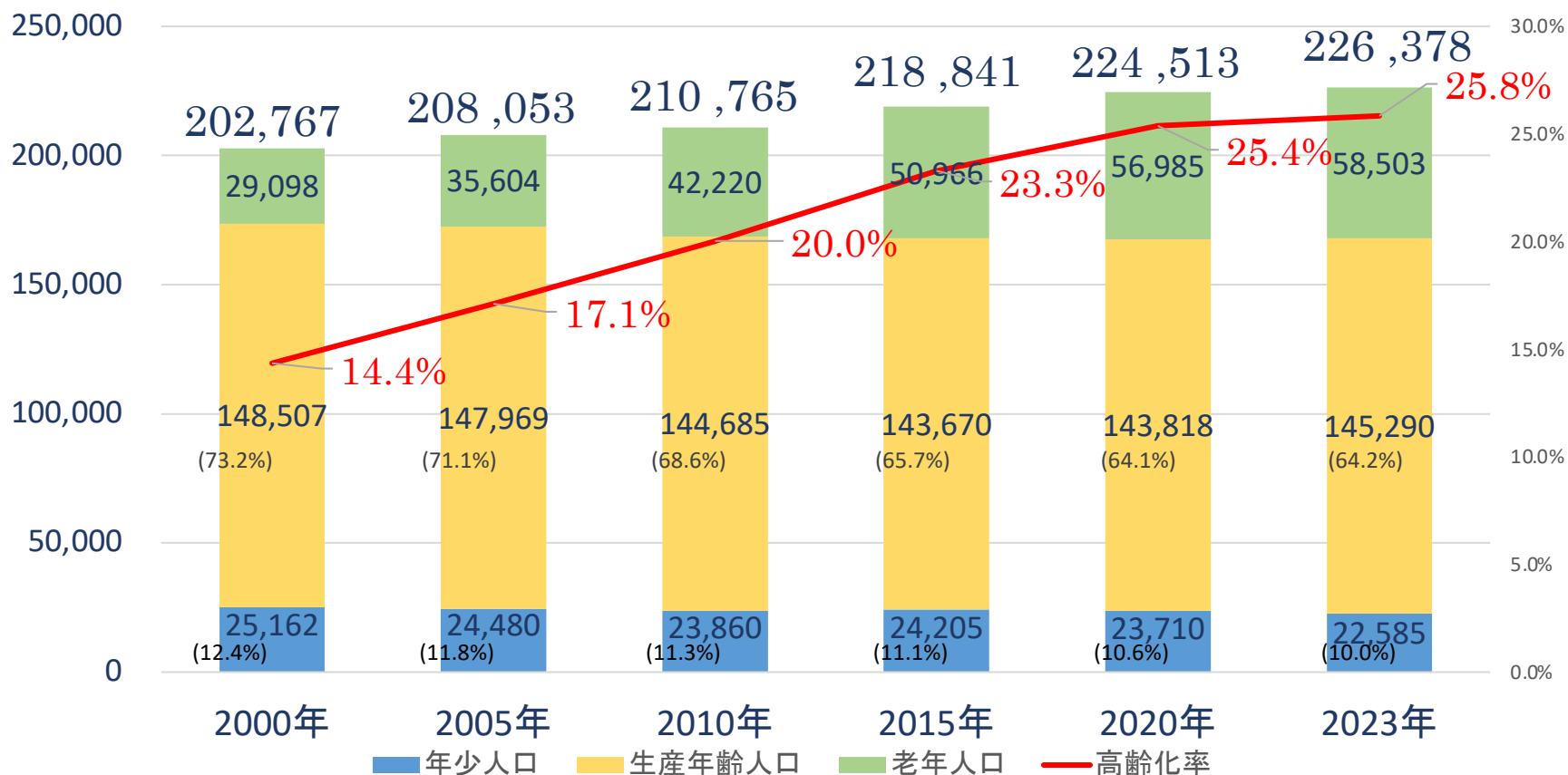
地域の価値が高くなった美晴台地区



2. 豊平区の町内会の概要

(1) 豊平区と地区ごとの人口・世帯数

- 豊平区の人口は、微増傾向にあります。
- 高齢化率は、2023年で25.8%となっています。



(2) 豊平区の町内会

- 豊平区には、289の町内会・自治会とその連合体である9の町内会連合会があります。
- 豊平区の町内会加入世帯数は81,507、加入率は67.1%となっています。
- 札幌市10区の中なかでは、白石区、中央区に続いて低い状況です。

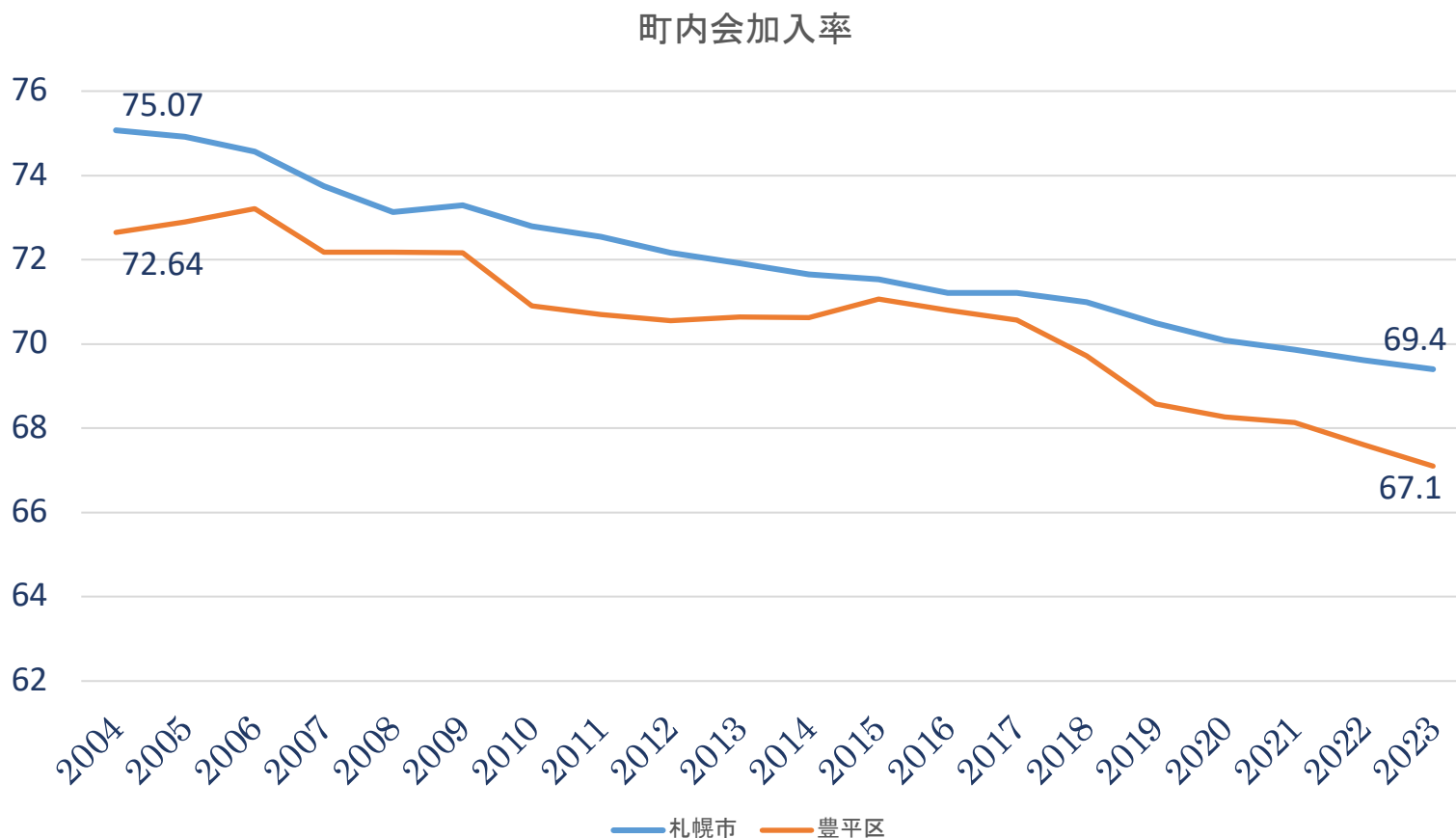


区名	連町数	単町数	人口	総世帯数	加入世帯数	加入率
中央区	16	256	252,854	146,579	90,607	61.81%
北区	11	311	289,210	142,072	102,038	71.82%
東区	10	275	264,347	132,806	90,621	68.24%
白石区	8	142	211,013	110,191	67,893	61.61%
厚別区	6	82	123,297	57,899	43,624	75.34%
豊平区	9	289	226,006	121,465	81,507	67.10%
清田区	5	103	110,945	46,072	35,239	76.49%
南区	10	247	134,329	62,511	50,343	80.53%
西区	8	285	217,271	105,963	75,589	71.34%
手稲区	7	193	141,953	62,177	48,036	77.26%
全市	90	2,183	1,971,225	987,735	685,497	69.40%

※ 人口・世帯数は国勢調査ベース

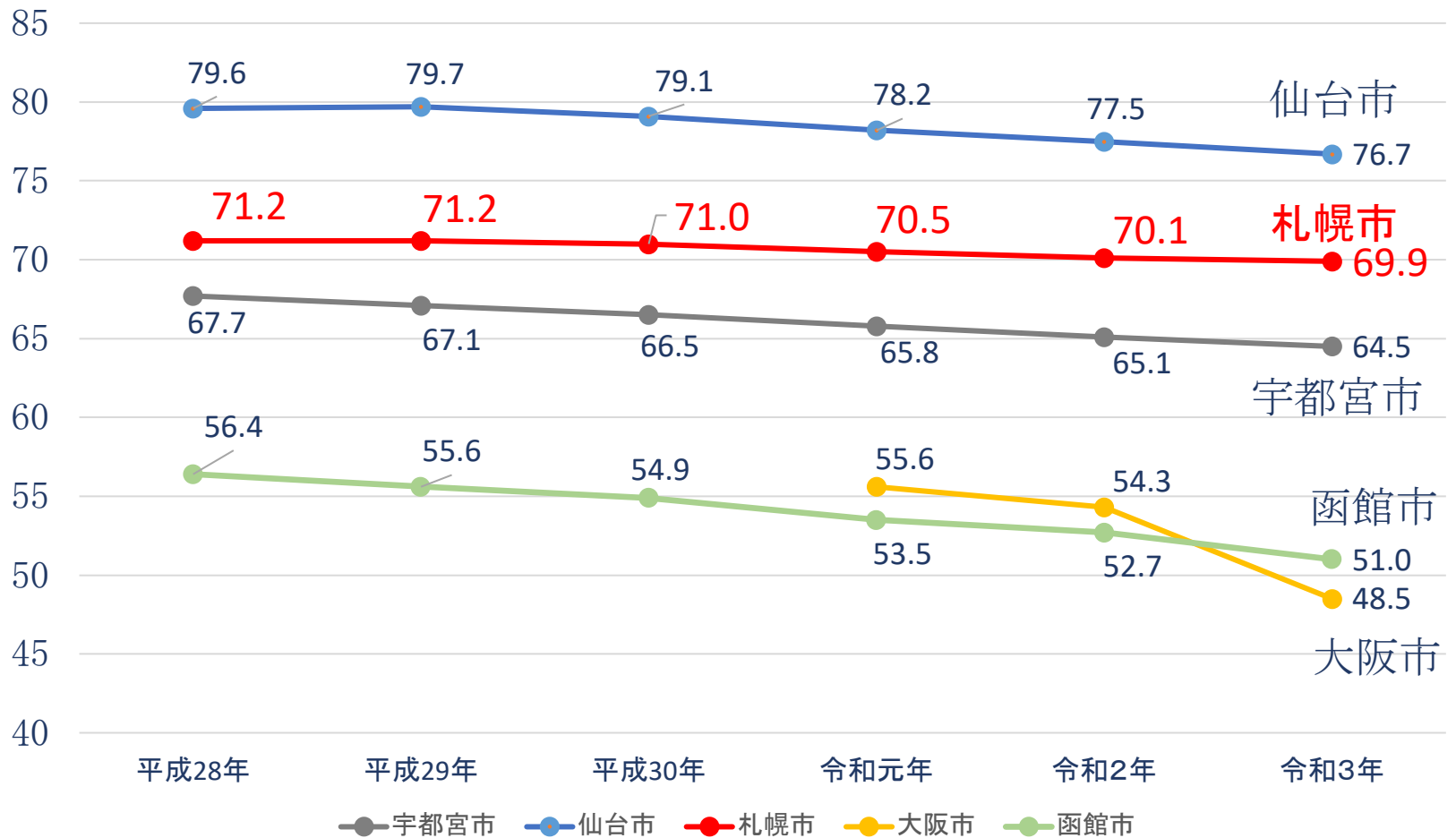
豊平区の町内会加入率の推移

- 札幌市、豊平区の町内会加入率は、減少傾向にあります。
- 2023年、札幌市が69.4%、豊平区が67.1%となっています。



札幌市と他都市の町内会の加入率

町内会加入率



(3) 豊平区の取り組み

- 豊平区では町内会加入促進のためのリーフレットが制作されており、また、各町内会が作成する町内会活動ガイドの作成支援も行われています。



- 町内会加入促進や担い手確保など、町内会の活性化に向けた身近な取組事例ご紹介するニュースレター「とよキラ通信」を発行しています。

町内会活性化の輪を紹介する朝刊誌

とよキラ通信

(第5号)

豊平区には288の町内会があり、まちをより暮らしやすくするために日々取り組んでおられます。地域振興課では、町内会委員の皆さんに町内会活性化に関するさまざまな取組を紹介するため、「とよキラ通信」を発行しています。

いいネタありますか？

今回のテーマはこちら！

「町内会アドバイザー派遣制度」の活用

令和4年度、市民文化用地区振興部市民自治推進課で実施している「町内会アドバイザー派遣制度」を活用していただいた中の島三区第2町内会の取組をご紹介します。

いいネタありますか？

課題の解決に向けて専門家を一歩前に

① 専門家に現状・課題を報告→アンケートを実施

中の島三区第2町内会の課題は、続ける役員が不足していること、集住住宅の町内会加入率が低いことでした。そこで、専門家主導のもとアンケートを作成し、理事長さんから地域住民へ配布して、住民のニーズを把握することとしました。

アンケート項目の例

- 家族構成
- 町内会行事の認知率・参画性
- サポートの可能性
- 町内会に望むこと

② アンケート結果を踏まえて1歩前進

アンケートの結果、住民のニーズが低い行事に役員が力をかけていたという気づきがあったほか、子育て世代が望むイベントがわかるなど、行事を再考すきっかけとなりました。

また、役員とまではいけなくとも、「清掃や家畜への協力」、「イベント当日の手伝い」など、ちょっとしたサポートであればできる方がいるとわかり、こういった方向にできることを手当てしてもらえるよう、まずは連絡をとってみることとしました。

高齢化した地域だと思っていたが、子育て世代が2割もいることに気づきました。役員の中には子育て世代の方もいるので、アンケート結果も踏まえ、ニーズを捉えた町内会活動を考えていこうと思います。幹部の支援を活用したことで、今後の方向性が見えてきました。

中の島三区第2町内会の紹介 (矢野 裕二会長)

●世帯：13 ●加入世帯数：253 (令和5年1月1日現在)

精道川に面し、戸建住宅も大きなマンションもある。世代交代の進むエリア

令和5年(2023年)3月
発行：豊平区市民文化用地区振興課
豊平区中野6条10丁目
TEL: 011-822-2427
Fax: 011-822-9307
E-MAIL: toyo.kirakira@city.sapporo.jp

今回のテーマはこちら！

「町内会活動ガイド」の活用

令和3年度、豊平区地域振興課で実施している「町内会活動ガイド作成支援」を活用していただいた南平岸第二町内会の取組をご紹介します。

地域の皆さんに町内会を知っていただく

① 写真でわかりやすく～活動の紹介～

町内会では、住みよいまちにするためにいろいろな活動を行っています。活動内容を広く知ってもらうため、夏祭りやラジオ体操のほか、資源回収や花植え、防災パトロールや交通安全防止啓発活動など、実際には見たことがない人にもわかりやすいように、町内会の活動を写真付きで紹介しました。

写真が多い方が読んでもらいやすいようです。

② 日常でも、もしもの時でも使えるように～マップ・連絡先を掲載～

町内会区域がわかる地図を載せ、そこに町内会で設置したごみステーションや資源回収ポストなど日常に役立つ情報のほか、災害時の避難場所やAEDがある場所の情報を掲載しました。

また、防犯・災害時の緊急連絡先や公共機関など、生活に便利な連絡先を載せることで、身近な場所に保管してもらえる工夫をしました。

もともと南平岸第二町内会は町内会加入率の高い地域でしたが、新築マンションなどの転入者が未加入となる例が出てきて悩んでいました。町内会だよりと合わせて町内会活動ガイドを配布したことで、加入率がぐんぐん伸び、部長を引き受けてくれる会員もいました。地域の皆さんに町内会を知ってもらうことが大切だと思いました。今後は、会員の要望を聞きながら、イベントの持ち方や広報の仕方を考えていきます。

南平岸第二町内会の紹介 (松浦 幸之会長)

●世帯：26 ●加入世帯数：1,101 (令和5年1月1日現在)

地下鉄南平岸駅に近く、商業施設や病院の周辺に作り住宅の建設が増えているエリア

経歴後記(事務局から)

今回は、札幌市で実施している「町内会アドバイザー派遣」事業、豊平区で実施している「町内会活動ガイド」作成支援を活用した町内会をご紹介します。お忙しいなかご協力いただいた、矢野会長、松浦会長ありがとうございました。令和5年度にも実施予定ですので、ぜひお申し込みをご検討ください。令和5年4月に「札幌市未来へつなぐ町内会活性化共創支援」が施行となります。札幌市では、この事業を基に、町内会の支援を拡充していく予定です。今後、参考になる取組を豊平区ホームページでも紹介していきたいと思っておりますのでお楽しみに。




3. 町内会を取り巻く現状と課題

(1) 地域コミュニティでの課題は増えている

高齢化



少子化・子育て支援



防災

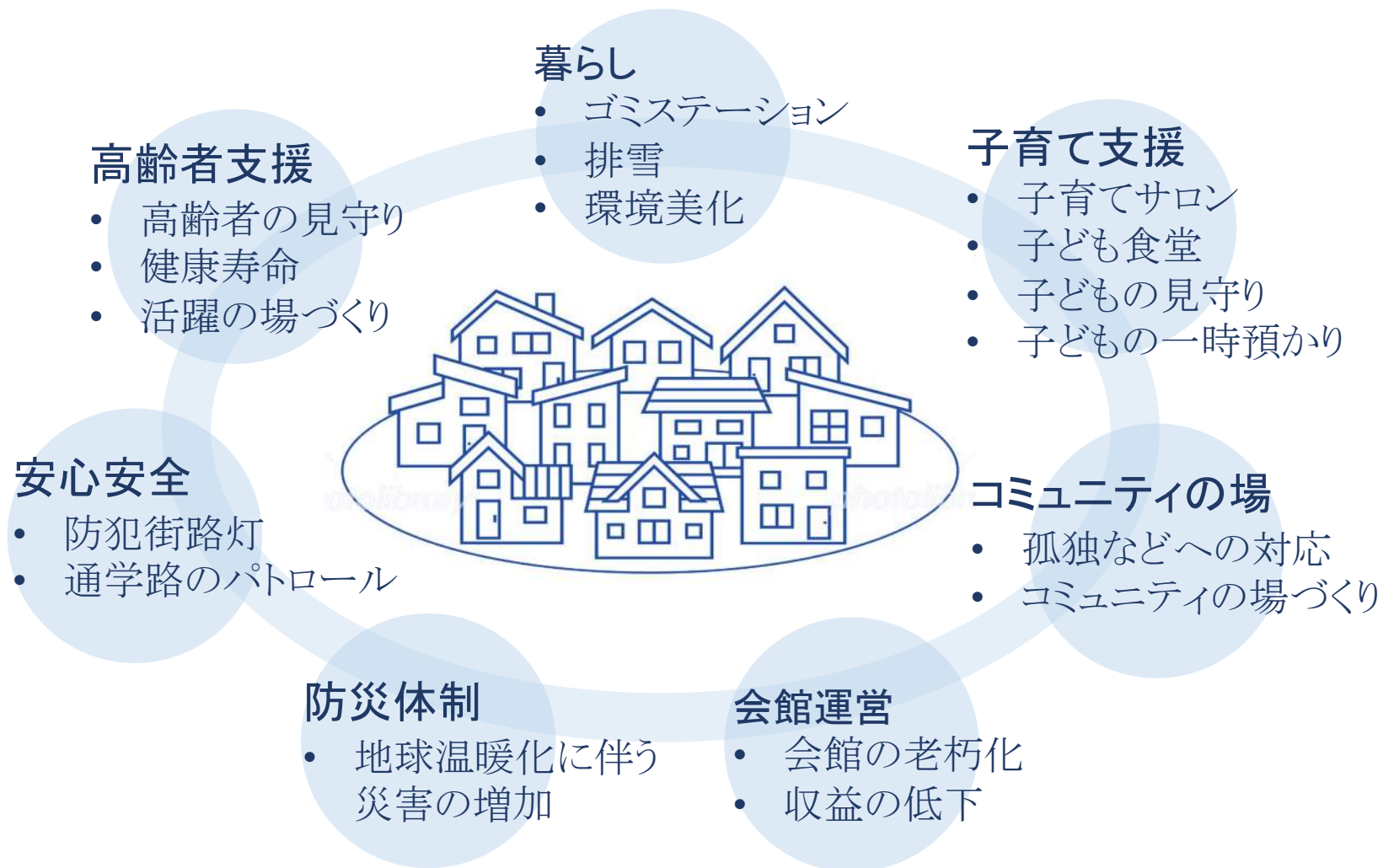


孤独





(2) 地域コミュニティにニーズが増えている

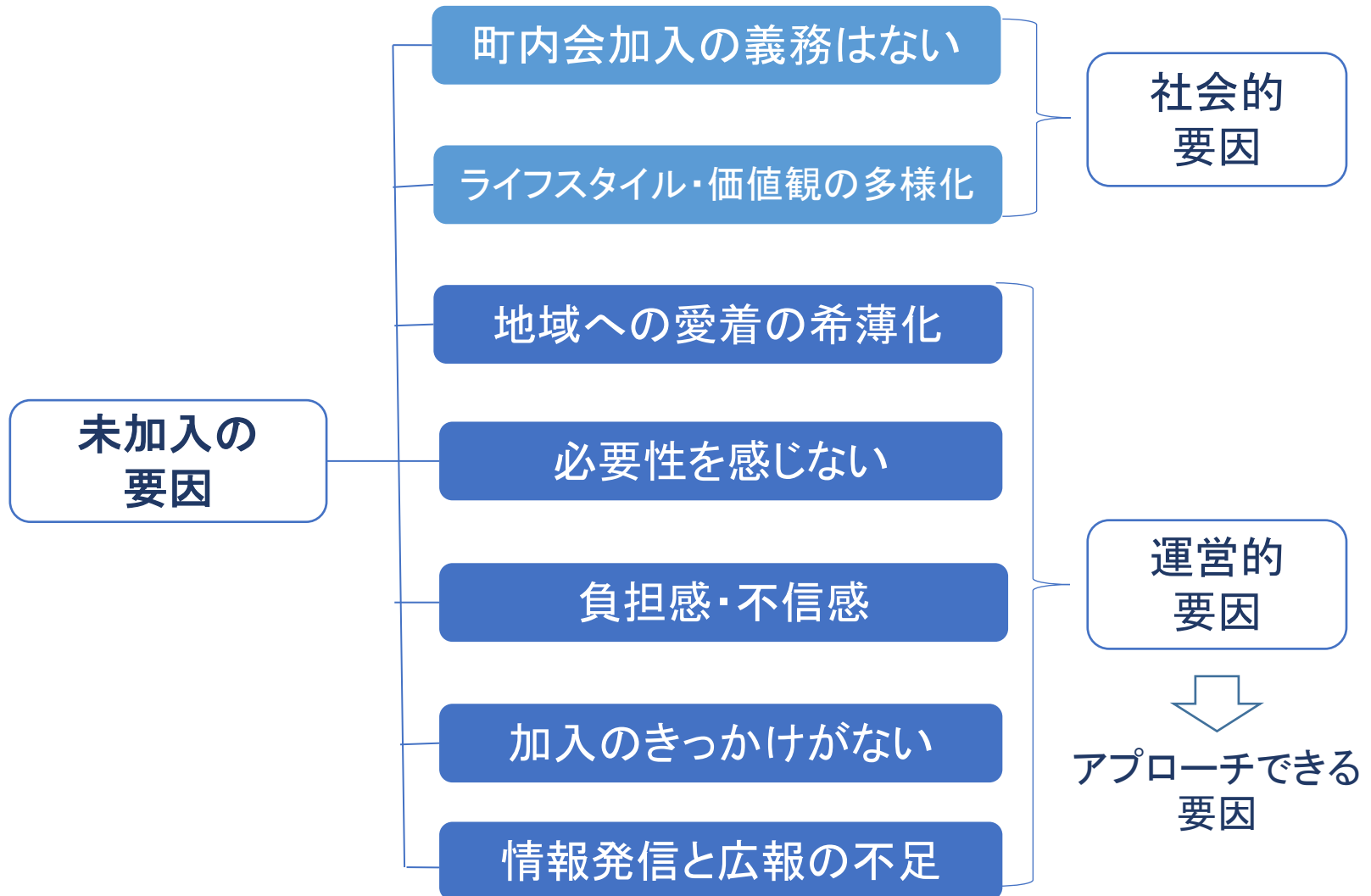


(3)暮らしを支える町内会は高齢化で担い手不足

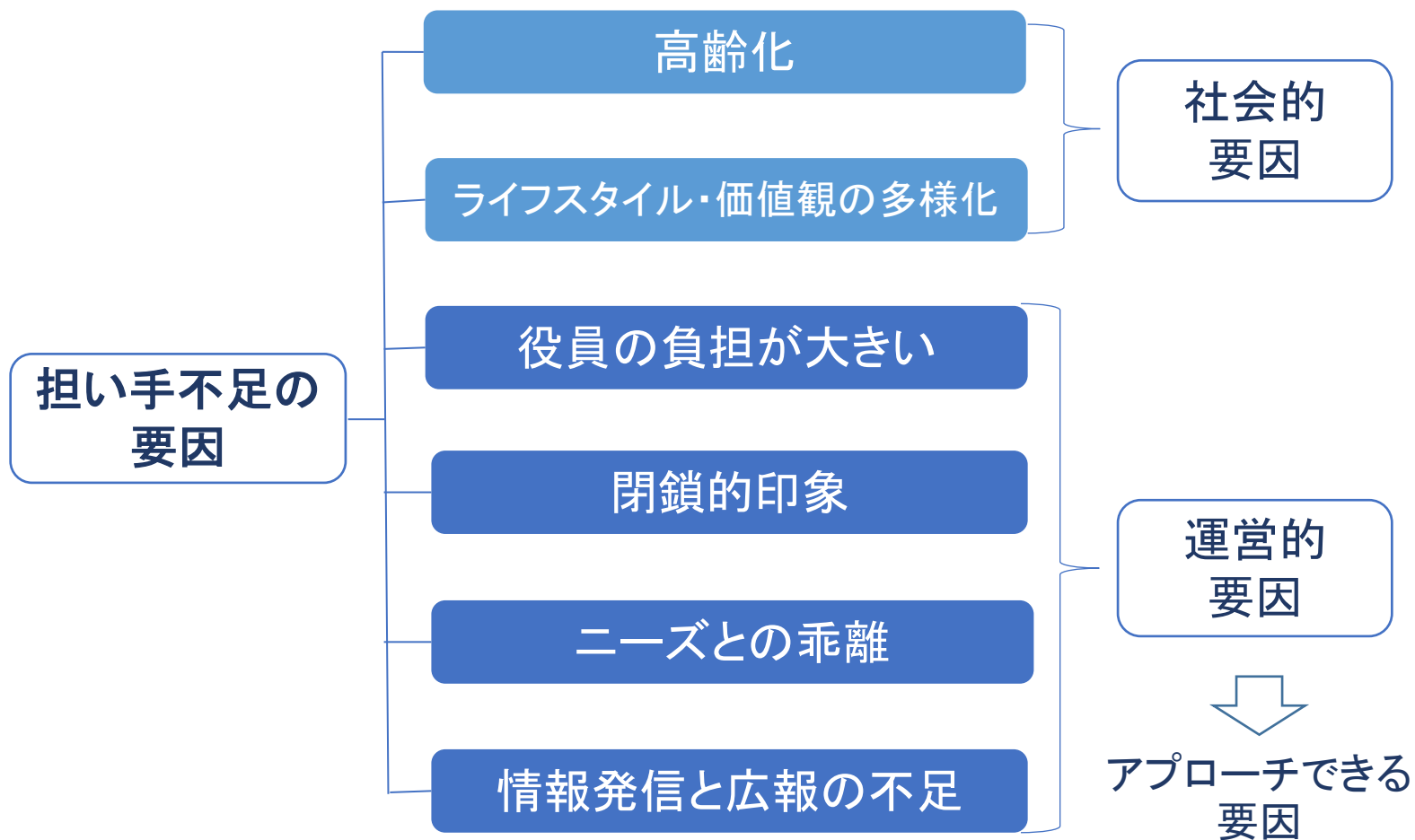


(3) 町内会の課題～「加入率の低下」と「担い手不足」

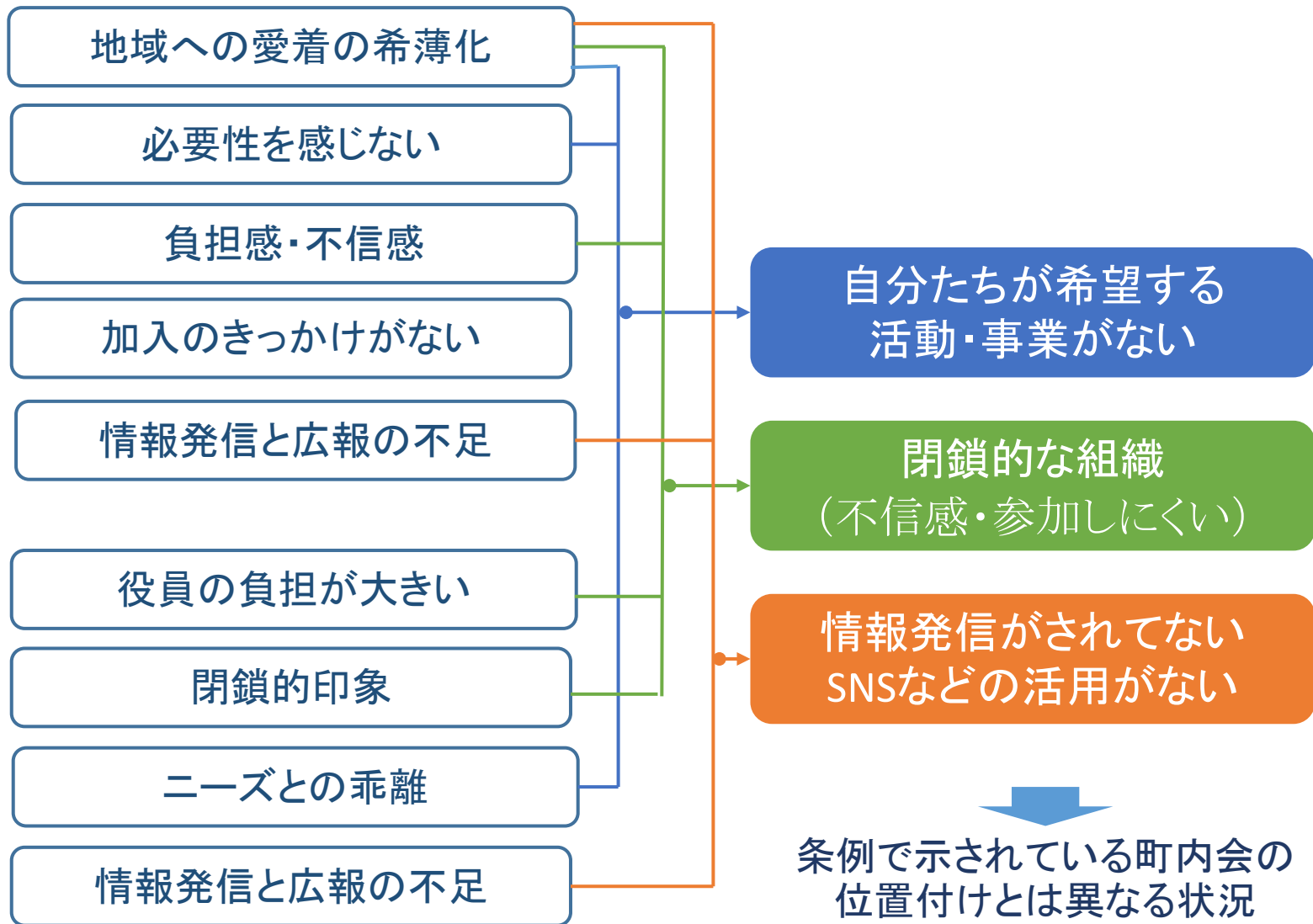
- 新琴似連合町内会の加入率が高い。
- 全国の自治体では町内会の加入率の低下が進んでいます。



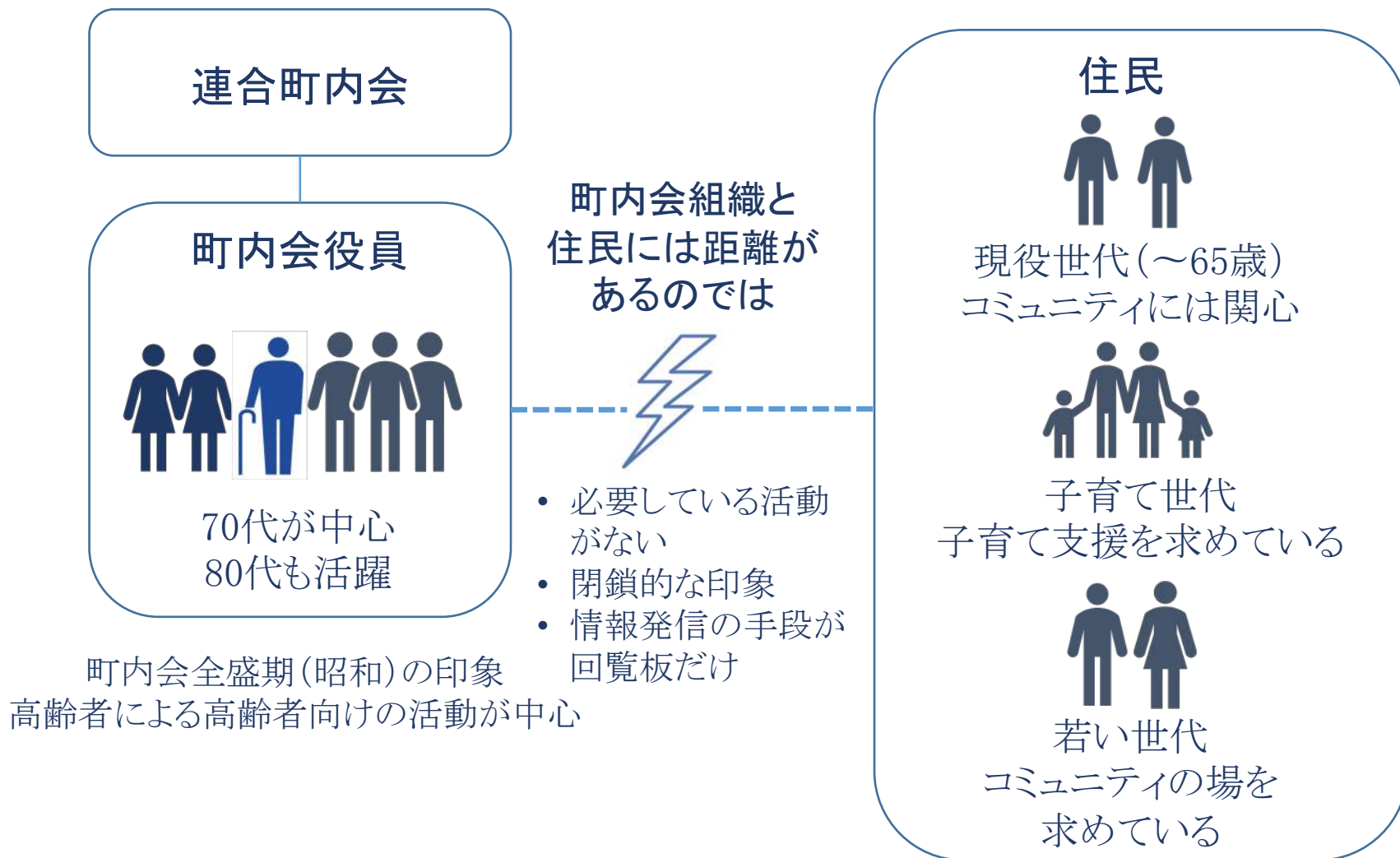
②担い手不足の主な要因



③加入率の低下と担い手不足からの解決すべき要因



④町内会組織と住民の間の距離



(4) 町内会活性化に向けた3つの取り組み

町内会の加入率の低下・担い手不足課題の要因

- 自分たちが希望する活動・事業がない
- 閉鎖的な組織(不信感・参加しにくい)
- 情報発信がされてない・SNSなどの活用がない
- 町内会組織と住民の距離



- ① ニーズに対応した活動で「必要性」のある組織
- ② 「オープンな運営」で「気軽に参加」しやすい組織
- ③ 「デジタル化」で効率化と情報共有の推進

4. 担い手不足の要因とその対応

(1) ニーズに対応した活動で「必要性」のある組織

今すぐ取り組みましょう

- ① 高齢者中心の活動になっていないか検証
- ② 子育て世代のニーズを把握(座談会などの開催)
- ③ 孤独を感じている若い世代のニーズを把握
- ④ 賃貸住宅やマンションの住民のニーズに対応
- ⑤ アンケート調査でニーズの把握と人材発掘

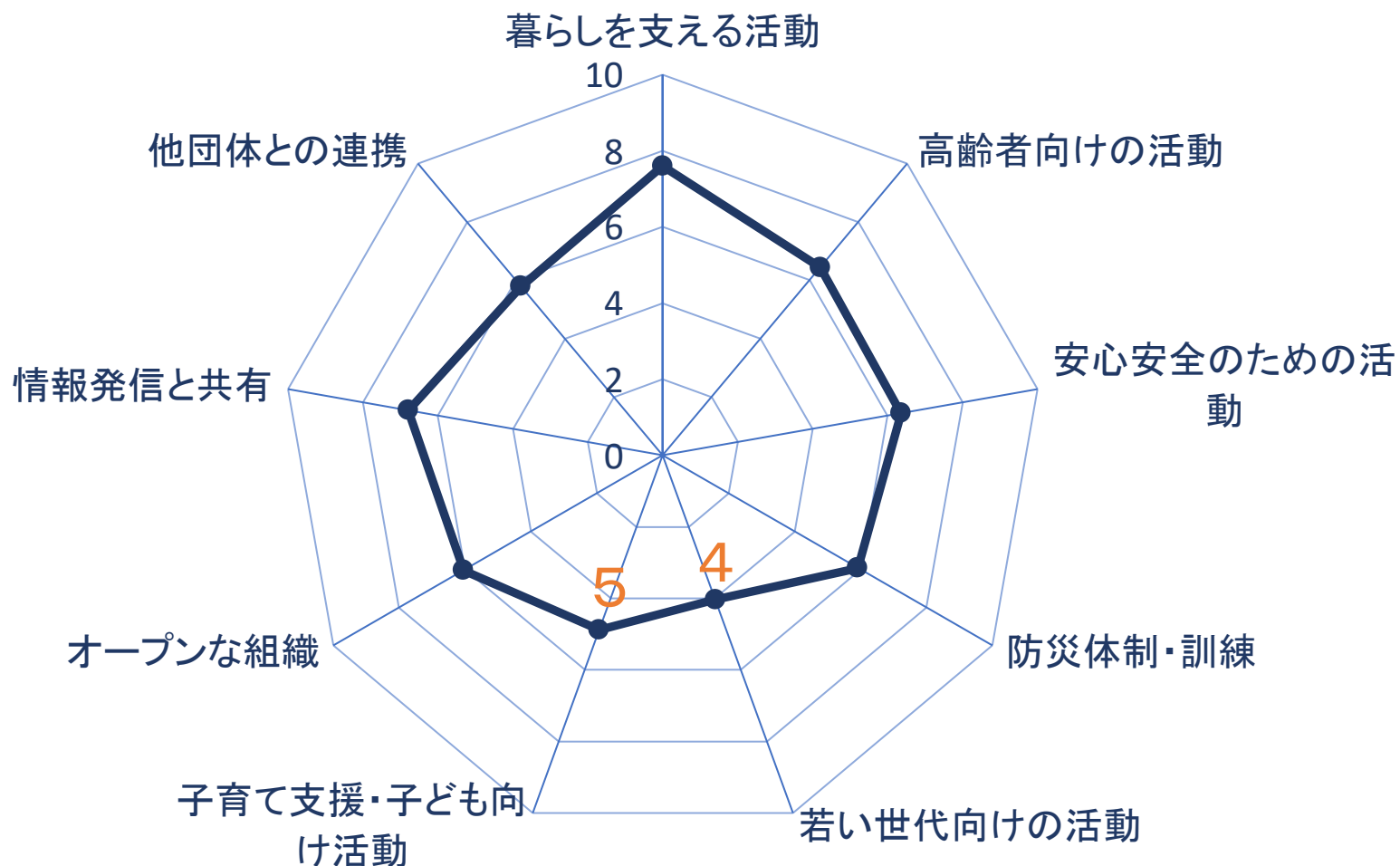
札幌市町内会未来塾(2023年9月9日実施)

- 町内会役員の方々が参加した町内会未来塾
- レーダーチャートを使って、現在実施している町内会活動がバランス良く行われているか確認しました。



平均のレーダーチャート

- 参加者した方々の町内会活動を見ると、若い世代向けの活動や子育て支援・子ども向け活動が少ないことが解ります。



②町内会活動をカレンダーにしてみると高齢者中心の活動に

- 急激な高齢化により、役員の高齢化、そして高齢者向けの活動が中心になっている。

■札幌市内のある町内会の年間行事

	主な活動	主な参加者
4月	町内会総会・懇親会	役員・班長
5月	清掃・健康体操	清掃は住民/ 健康体操は高齢者
6月	お祭り	住民全体
7月	健康体操	高齢者
8月	カラオケ大会	高齢者
9月	防災訓練・秋祭り	住民全体
10月	清掃・健康体操	清掃は住民/ 健康体操は高齢者
11月	カラオケ大会	高齢者
12月	クリスマス会・餅つき	子ども
1月	新年交流会	役員が中心
2月	健康体操	高齢者
3月	進学祝い金	子ども

②子育て世代や若い世代のニーズを知っていますか？

- 子育て世代や若い世代のニーズを確認しましょう。

■札幌市・仙台市の子育てのヒアリングから

町内会には加入しているが、実態がわかりにくい

- 町内会がどんな活動をしているかはあまり知らない、見えにくい
- 町内会費は払っているが、何に使われているかわからない
- 活動に参加するきっかけがない



負担を感じる

- 働きながら子育てをしているためできないことが多い
- 回覧板は書類が多く、目を通すのが大変な時もある

子育てにおける『孤独』の解消・多世代の交流

- 産後は社会から切り離され、一日中子どもと二人のことが多いため、おしゃべりができるような場が地域にあると嬉しい
- 近くに身内がないため、緊急時に近隣の方に子どもを預けられるような仕組みがあると助かる
- 子どもから高齢の方までが楽しめて、交流できる機会は大切だと思う

●子育て支援



西区西町 hug*cafe BASE(子育て世代の女性によるコミュニティ)



南区藻岩 子連れカフェ SUVACO 孤独になりがちな子育てのママを応援

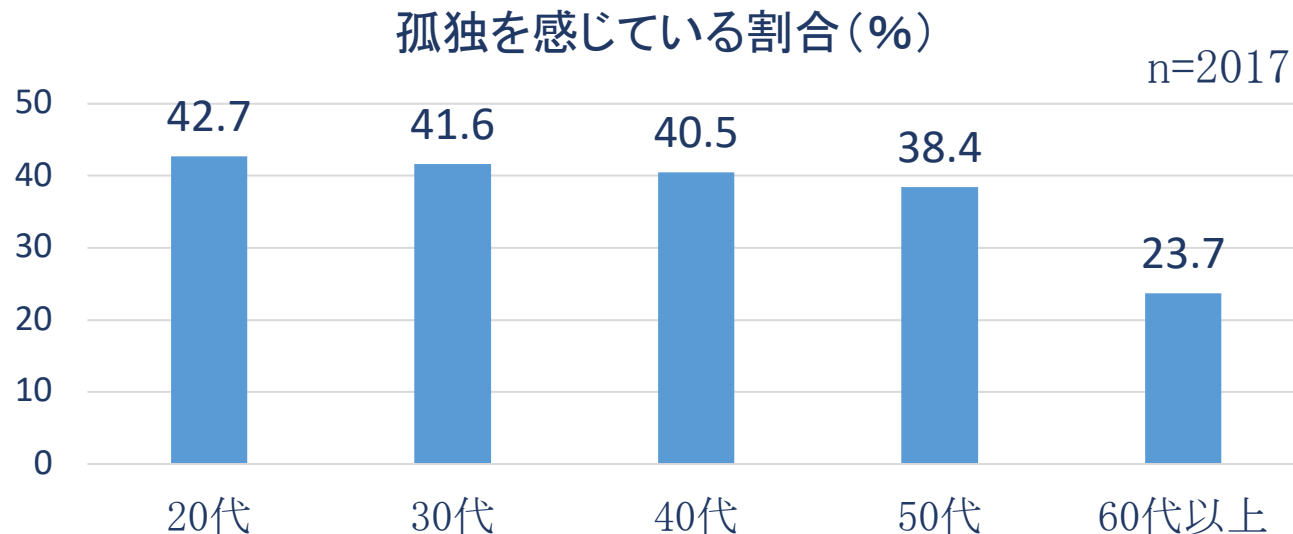
●子育て世代との座談会を開きましょう



座談会は託児スペースと保育士さんにサポートしてもらうことで
参加しやすい会になります

③若い世代ほど「孤独」を感じており地域コミュニティを必要している

「特定非営利活動法人あなたのいばしょ」と「国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)」が2022年2月に実施した「コロナ禍での人々の孤独に関する調査」では、孤独を感じている割合が最も高いのは20代で42.7%、最も低いのは60代以上で23.7%となっています。



● 孤独を防ぐ開かれたコミュニティの場が必要です

- 多様で開かれた居場所、つながりがあるまちにすることが必要です。



●地域の若い世代に「交流会」の企画運営を委ねる

- 地域の若い世代で実行委員会をつくってもらい、交流会を企画実施してもらおう
- 町内会はお金は出すけど口は出さない
- 町内会へのニーズを交流会でさりげなくヒアリング



●交流の場と機会：町内会館を居酒屋（札幌市豊平区）

- 役員の担い手不足や町内会行事に対する参加者の固定化が課題だった。
- 近隣に大学があるため、学生や若者が多かったことなどから、世代間交流事業として、町内会館での居酒屋がスタート。
- 大学生なども手伝いに来てくれ、町内会に関わるきっかけになった。
- 年に6回、奇数月の第3土曜日に開催している。
- 子どもを連れて参加できることもあり、少ない時でも60人、コロナ後は100人程度が参加している。
- 賃貸住宅やマンションの居住者も数多く参加しており、そこから町内会活動をサポートしてくれるメンバーも増えている。
- 町内会の役員と女性部が中心となって運営している。



●若い世代が関心のある行事

- 若い世代の関心が高く、気軽に訪れることができるフリーマーケットなどを開催することで、町内会を知ってもらう
- フリーマーケットの企画・運営するメンバーを募集して、町内会に関わってもらうきっかけにする



川崎市高津区では2つの町内会が合同でフリーマーケットを開催
参考：<https://www.townnews.co.jp/0202/2012/05/18/144890.html>
(タウンニュース 川崎高津区版 2012年5月18日号)



フリーマーケットの出店者の募集
チラシを未加入者に配布すること
で活動を知ってもらう

④賃貸住宅やマンションの住民のニーズ

- 町内会の加入促進は、町内会を理解してもらうことが必要
- 共通のテーマで理解を深めることが必要



交通安全・防犯

ボランティアに関心の
ある若者は増えている

敷地から外の防犯は
町内会が担っている



子育てサロン・食育イベント



防災訓練・DIG

公園の清掃
花植え

高齢者の一人暮らし
部屋と会社の往復の若者

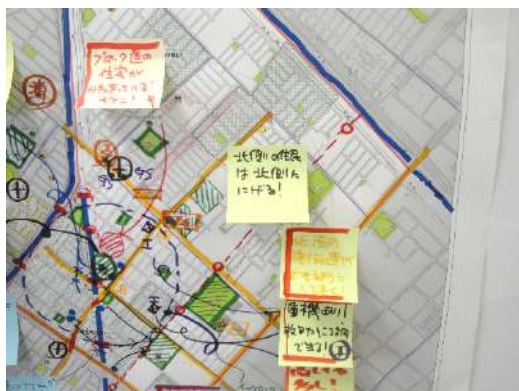
悩みを抱える子育て世代



お祭り

マンション管理組合
マンションの建物・敷地管理運営

- 訓練などは、町内会とマンションなどが連携して実施できるテーマ

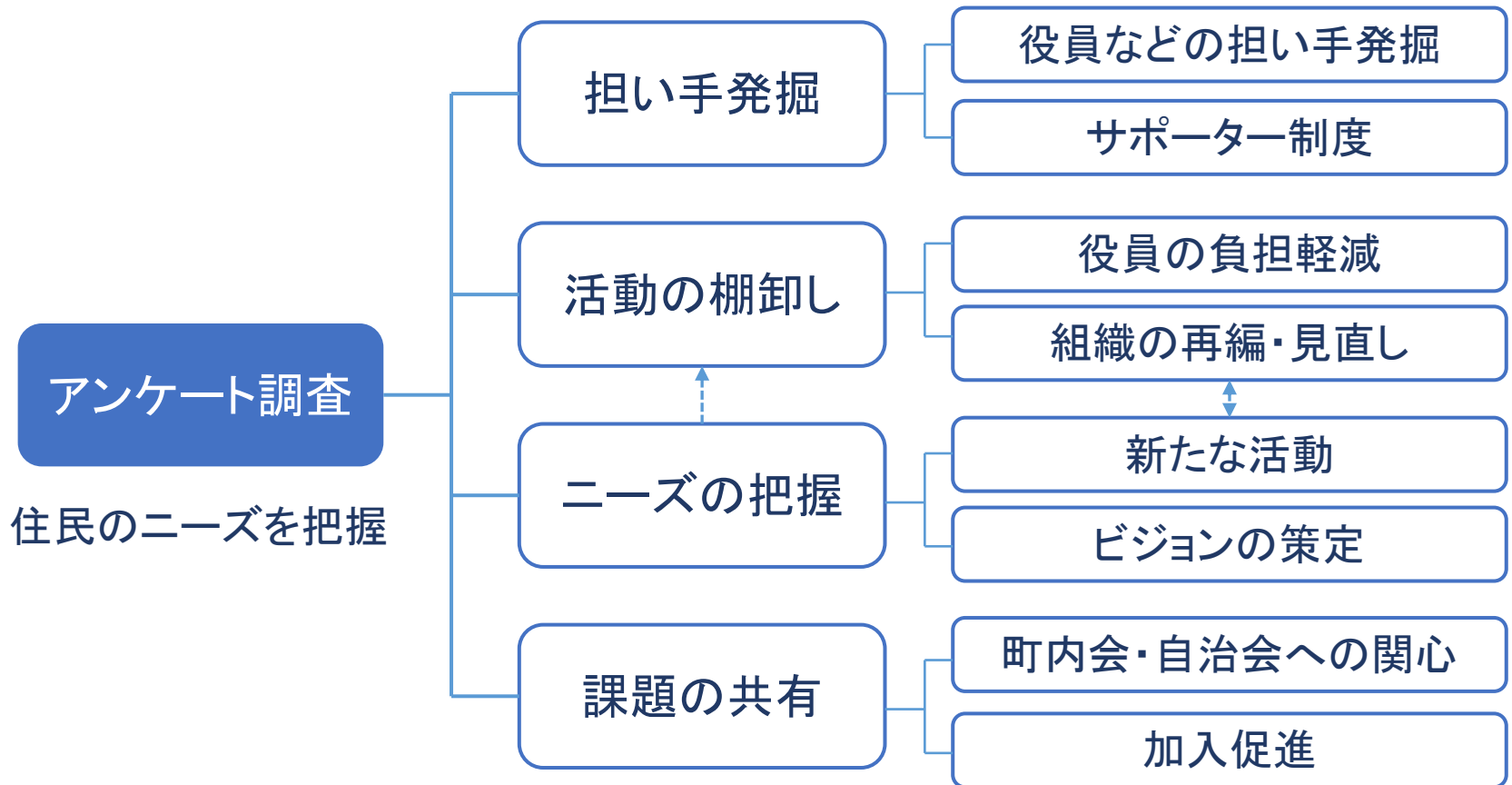


札幌市手稲区新発寒地区
災害図上訓練

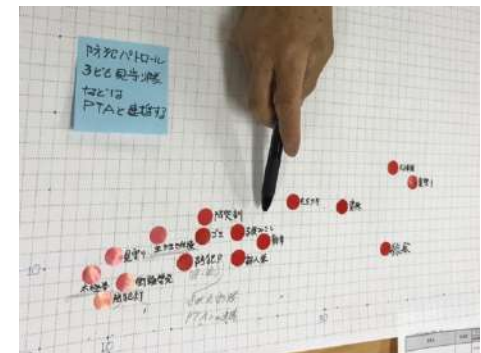
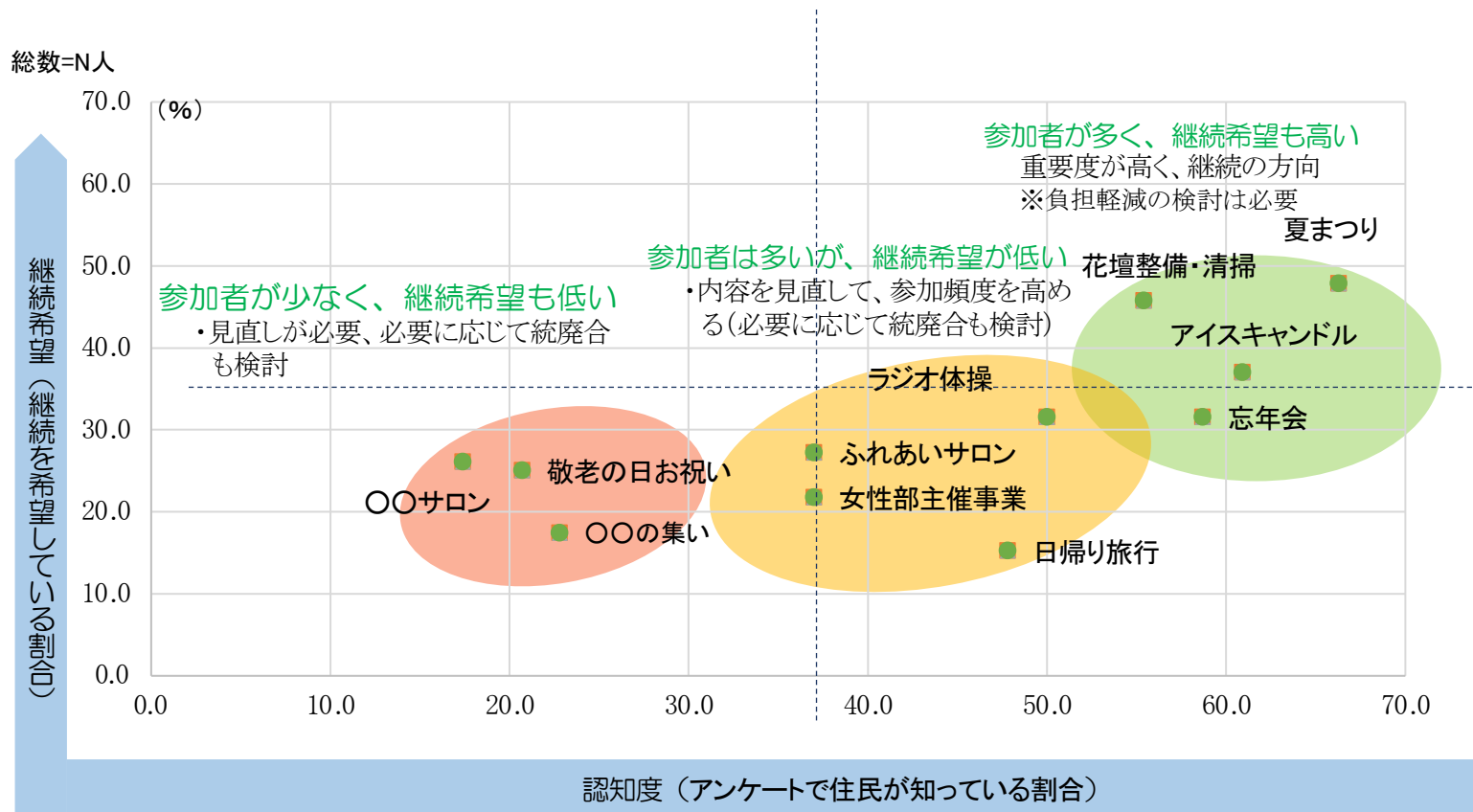


札幌市南区藤野地区 災害図上訓練と炊き出し訓練

⑤ アンケートでニーズ把握と担い手発掘



アンケートの分析～活動の棚卸しと新たな活動を考える



アンケートから再生した町内会

札幌市内のとある町内会
担い手不足で町内会の解散を検討

札幌市町内会アドバイザー派遣

アンケートの実施
解散しても良いという声は1割
サポーターの発掘・活動のニーズ把握

- 役員の負担を軽減しながら町内会を存続
- アンケートでサポーターを発掘
- ニーズに応じて活動を見直し、組織を縮小

サポーター会議の開催
活動の棚卸し・組織の見直し(部の統廃合)
役員の任期の検討

- サポーター会議の開催
- サポーターから総務部をサポートしてくれる人材を確保
- サポーターがLINEグループでつながる
- 日帰り旅行、新年交流会などを廃止
- 部の統廃合によって組織を縮小

サポーターチーム中心による新たな活動
ハロウィンイベントの開催
クリスマス会の開催

- サポーター中心で企画・実施
- 新たなイベントで新たなサポーターを発掘
- プロジェクトチームに任せる運営へ転換
- 子ども・子育て世代を重視した活動

サポーターが企画・開催したクリスマス会

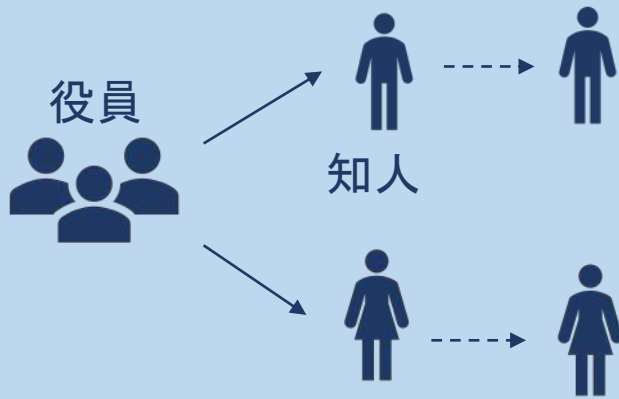


アンケートで広く人材の発掘

- 町内会の役員は、顔見知りからが多く、その範囲や世代は限られている。
- アンケートで広く人材を発掘する大切である。

アンケートでの人材発掘範囲

役員による直接的な人材発掘範囲



顔見知りの範囲・世代が近い



地域コミュニティの力
が必要

子育て世代など
多世代



やれる時に
やれる範囲内で



地域に貢献したい

(2)「オープンな運営」で「気軽に参加」しやすい組織

①わかりやすい情報公開

- 町内会活動をわかりやすく紹介するパンフレットやチラシを作成して全世帯に配布します。

②誰もが参加できる役員会

- 役員会などは公開にします。
- 役員会などは多くの方が参加できる休日の昼などに開催します。
- オンラインで開催することも必要です。

③多様な参加形態を可能にする仕組みをつくります

- 現役世代も町内会に関われるように「やれるときに、やれることを」を基本に「サポーター」を増やしましょう。
- イベントは「実行委員会形式」で、協力参加を呼びかけましょう。

④オープンな町内会運営の仕組み

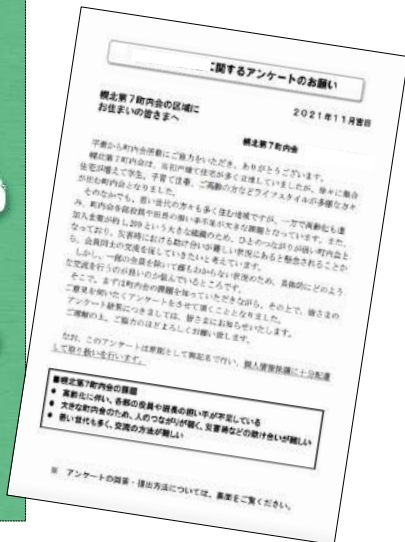
- 世代ごとに役員を選出することで、各世代のニーズに対応した活動や運営を行うことができます。

①パンフレットで町内会の情報公開

(北海道札幌市北区)

- 大学生が多く住んでいる町内会。
- 大学生など若い世代にも町内会活動を理解してもらうことを目的に全世帯に配布しています。
- 町内会会費の使い方なども開示しオープンな運営に努めていることも示しています。

予算の使い方をしっかり解説



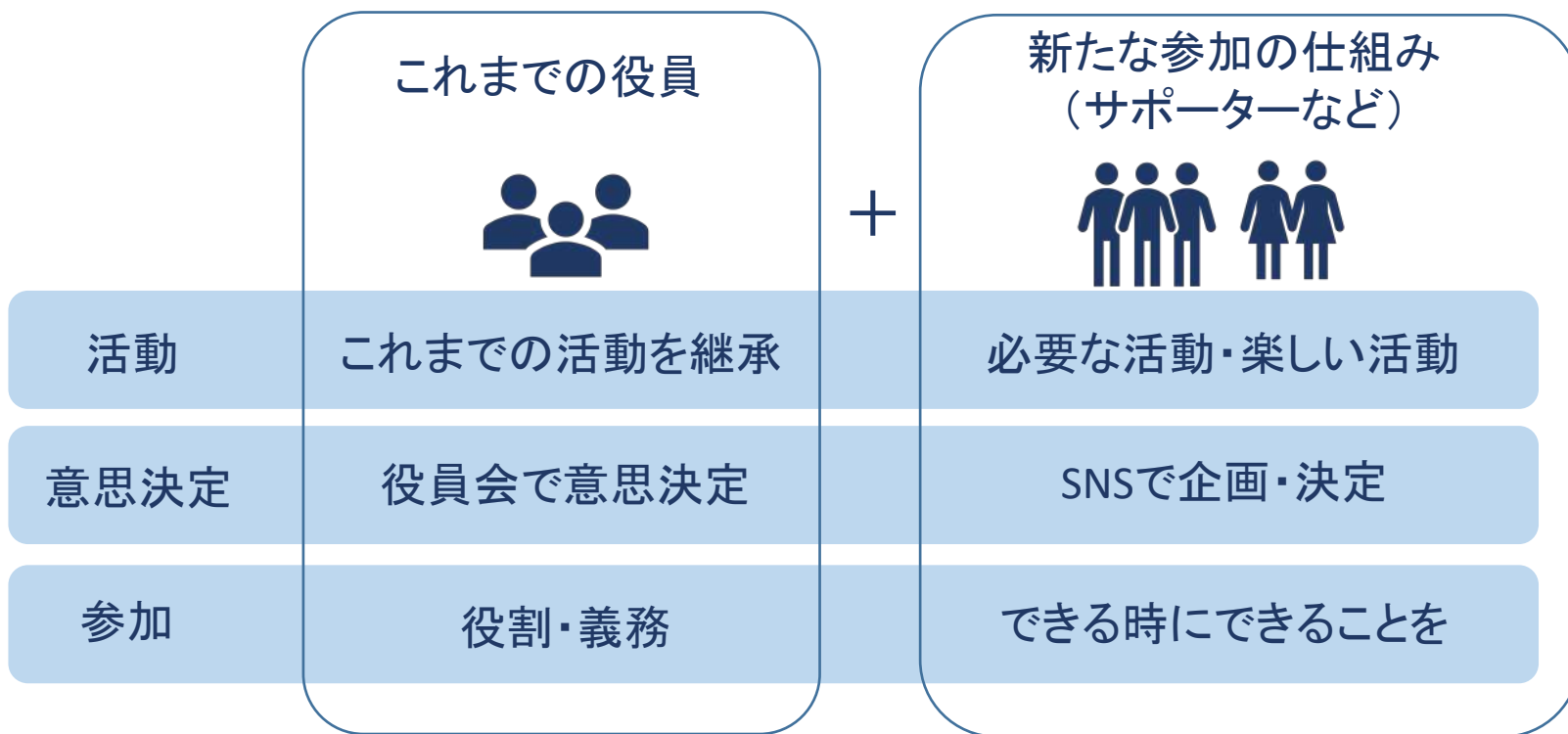
②誰もが参加できる役員会

- 役員会は休日の昼間に開催して参加しやすくしましょう。



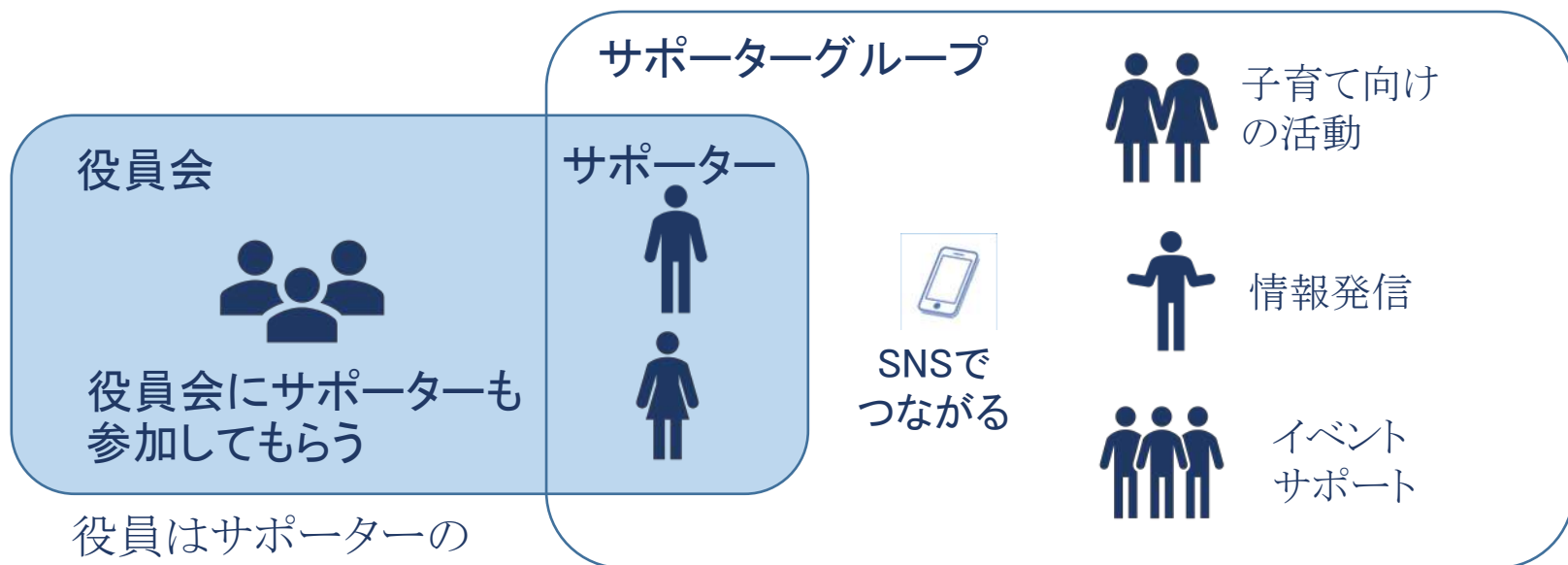
③多様な参加の仕組み(できる時にできること～サポーター制度)

- 新たな参加の仕組みをつくり、町内会に関わるメンバーを増やすことが必要である。
- 役員とは異なる世代を新たな仕組みで参加できるようにすることが大切である。



● サポーターとつながりをつくり、企画から任せる

- サポーター会議などを開催し、役員とサポーターのつながりをつくる。
- サポーターに新たなイベント・活動を企画から任せる。
- 役員は支援者に徹する。



役員はサポーターの活動の支援者に

- サポーター会議でサポーター同士のつながりをつくる
- LINEグループなどで緩やかにつながる
- サポーターの負担にならない活動
- 子育て世代向けの活動などを企画から行う
- 新たなイベントや活動を通じてメンバーを増やす

④オープンな町内会運営のしくみづくり

○誰もが参加できる

- 総会や役員会などには誰もが自由に参加できるようにします。
- 総会や役員会などは多くの方が参加できる時間帯に開催します。
- 総会や役員会などはオンラインで開催することもこれからは必要です。

○役員任期のルール化

- 役員の任期を明確にして交代します
- 役員の任期を決め、「輪番制」など入れ替わる環境をつくります。

○役員定年制

- 役員の定年制を導入します。
- 役員の高齢化を防ぐと同時に、引き継ぎがスムーズに行えます。

○役員複数制

- 役員の負担を軽減するために、役員を複数制として代替わりがしやすいようにします。
- 前任者と新役員が重複する期間を設けることができ、精神的負担が軽くなります。



役員は複数制にして重複期間を設けることで継続性を確保できます

○各世代から役員を選出

- 各世代ごとに役員を選出することで、各世代のニーズに対応した活動や運営を行います。

○広報部を組織し情報公開

- オープンな運営のためには、会員に活動を知ってもらうことが必要です。
- 多様な方法で情報発信を行うことが必要です。
- 情報発信を担う広報部を組織しましょう。
- 広報部では、回覧板だけでなく、FacebookページやLINE公式アカウントなどを活用して情報発信を行いましょう。
- 総会はもちろん役員会をオンラインで開催し公開しましょう。

● 役員の輪番制の導入について

- 担い手不足から役員の輪番制を検討する町内会もあります。
- 輪番制の導入にあたっては、以下のことを検討した上で実施することが望ましいと考えられます。
- **活動の棚卸し**を行い、役員の仕事を簡素化(最低限)します。
- 簡素化した仕事の**マニュアル**を作成します。
スケジュール、作業手順などを簡単に/マニュアルはバインダー方式とデータ
- **役員は複数制**が望ましいと考えます。
- 何か新しい活動ができるように「**実行委員会方式**(やりたいメンバーで中心となって実施)」などを位置付けておくことが必要です。
- 様々な理由から役員ができない世帯をどうするか検討し、**ルール化**することが必要です。
例えば役員をやらない世帯は、会費を高くしている町内会もあります。
また、輪番制の役員に適度な報酬を支払っている町内会もあります。

(3)「デジタル化」で効率化と情報共有の推進

- ①LINEグループで役員間の連絡を始めましょう
- ②FacebookやInstagramで町内会の情報発信をしましょう
- ③LINE公式アカウントを活用した電子回覧板
- ④デジタル化で若い世代に参画してもらいましょう

①LINEグループを活用した役員内のコミュニケーション (札幌市手稲区)

- 役員間では、LINEグループで情報共有や合意形成を行なっています。
- 当初、LINEを使っていなかった役員もすぐに慣れました。
- LINEグループで役員の負担が軽減されています。



●SNSの導入

- SNSで町内会・自治会の情報発信
- SNSを活用して役員の負担軽減
- SNSで参加しやすい組織

Facebook



- 町内会・自治会のFacebookページをつくり、会員や外部に情報発信を行います。

LINE



- LINEグループ
 - 役員間でLINEグループをつくり、負担軽減と現役世代も役員会に参加しやすくします。
- LINE公式アカウント
 - 町内会・自治会会員向けのLINE公式アカウントをつくることで、会員向けに情報発信ができます。
 - 回覧板的に利用することができます。

世代によって利用するSNSも異なります

10代・20代前半		TikTok 	Instagram 	LINE 	新聞・テレビはみない ネットで情報収集
20代・30代・40代		Instagram 	X(旧Twitter) 	LINE 	Instagramで情報収集
50代・60代・70代		Facebook 	メッセージャー 	LINE 	Facebookが多い コミュニケーションはLINE

②FacebookページやInstagramで情報発信

- 町内会の回覧をFacebookページでもアップして広く周知



●Instagramを用いた町内会の情報発信（北海道千歳市）

- 若い世代が多く居住しているという特性から、Instagramを用いた情報発信を行なっている。
- ハロウィンや節分、新一年生のお祝いなど子ども向けのイベントの告知や開催結果の報告などを行なっている。
- また、町内会の会費の案内やボランティアの募集などの案内も行なっている。

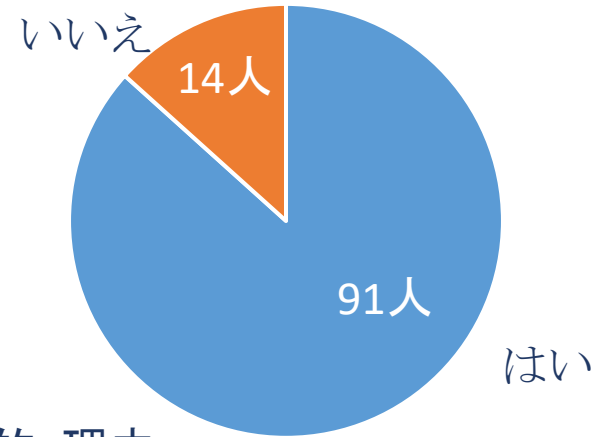


SNSを活用する子育て世代

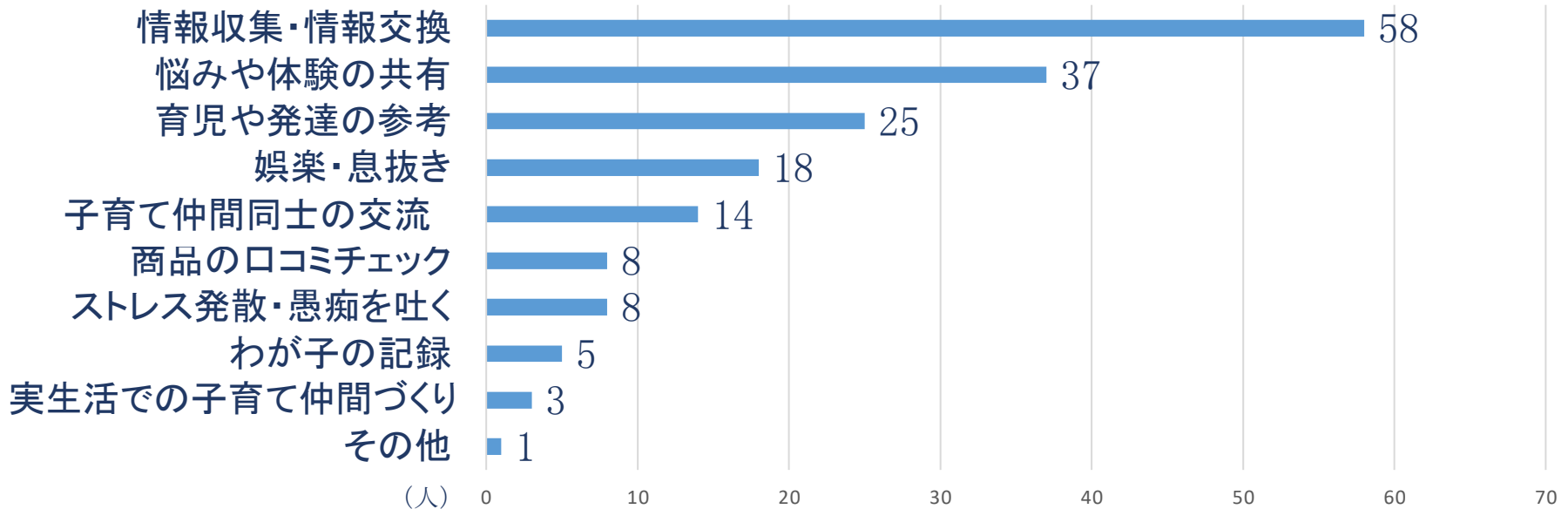
NHK Eテレ すくすく子育て情報 より

- 子育て世代は、「情報収集・情報交換」「悩みや体験の共有」「育児や発達の参考」などを目的に、SNSを活用しています。

子育てでSNSを使っていますか

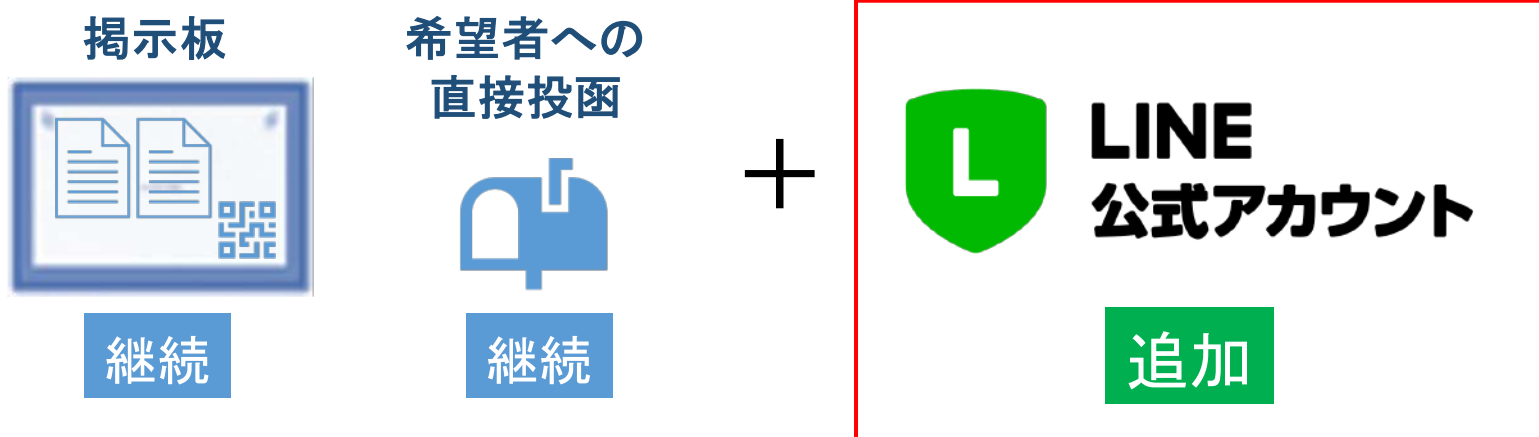


子育てでSNSを利用する目的・理由



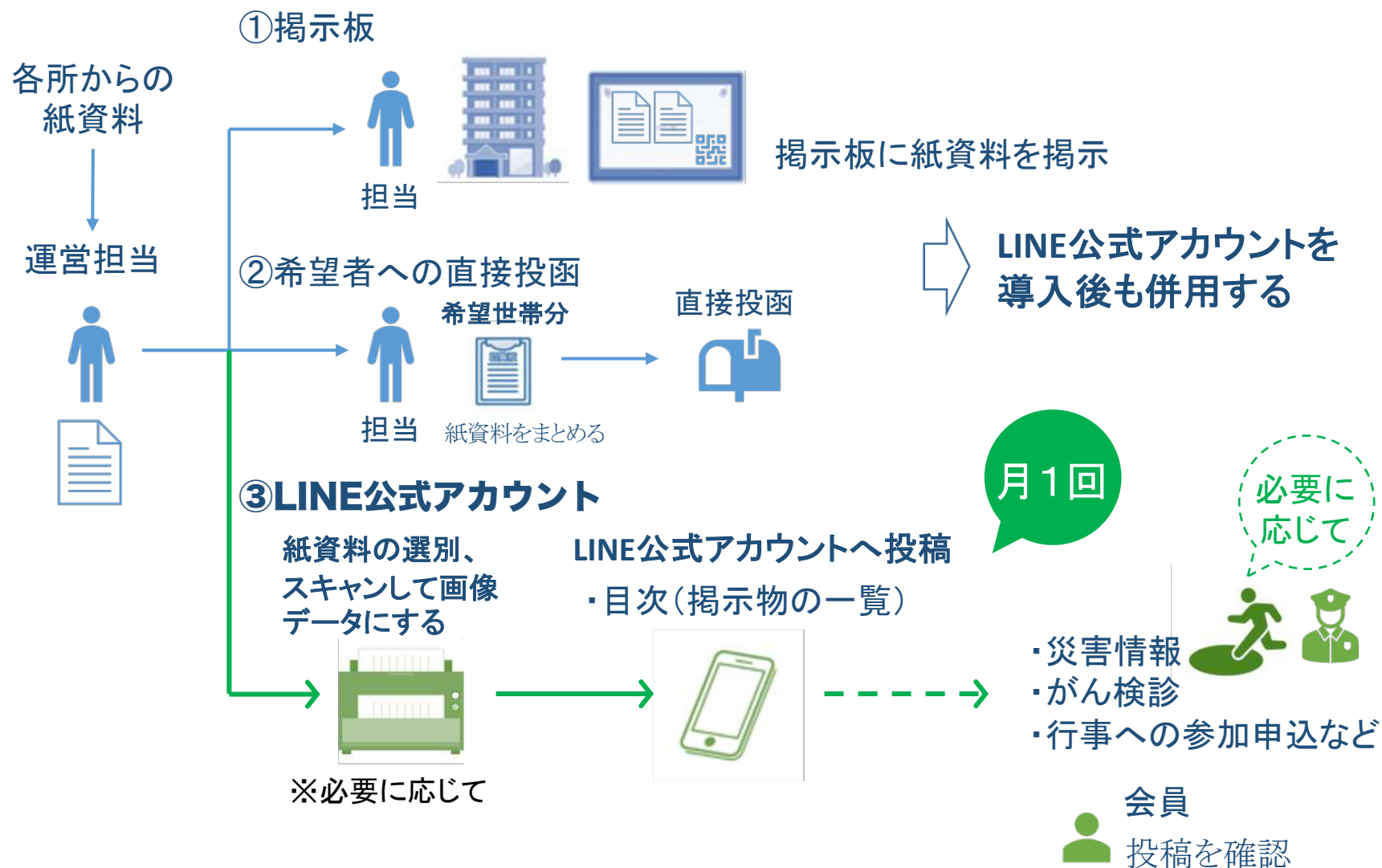
③LINE公式アカウントを活用した電子回覧板

- 複数の媒体で町内会の情報を発信する
 - 会員の皆さんのライフスタイルに合わせた情報発信を多様化させること



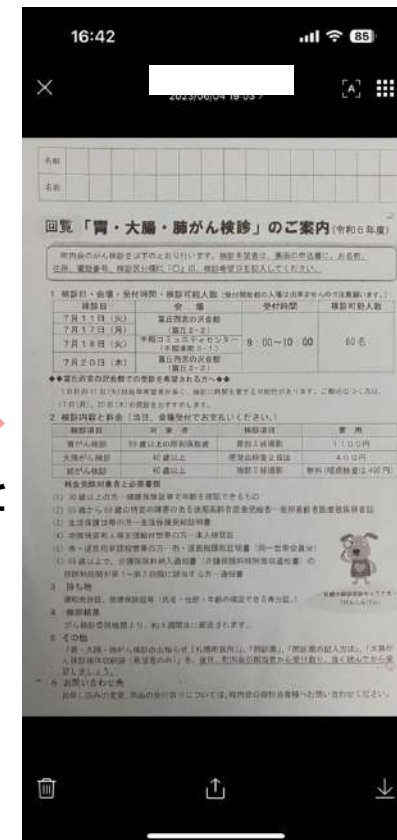
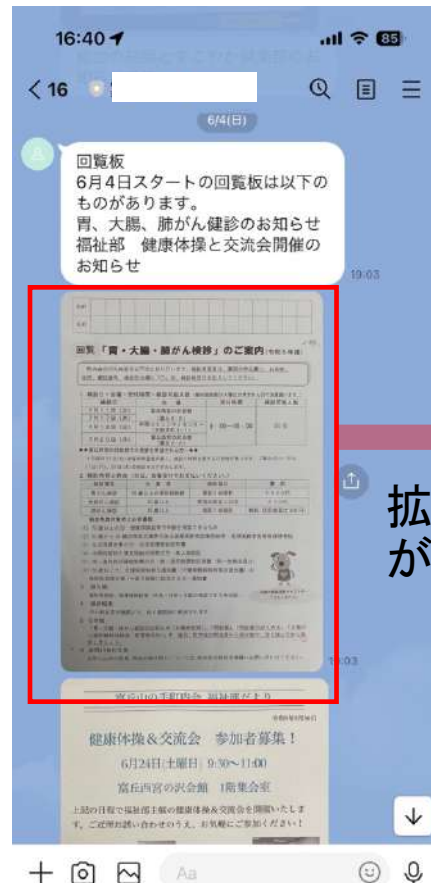
- リアルタイム(即時性)の情報発信ができる
 - 災害時など緊急時の対応やお知らせの発信に効果的
 - 会員に知らせたい情報、協力してもらいたい情報がある際、すぐにお知らせできる

「とある町内会」の運用状況



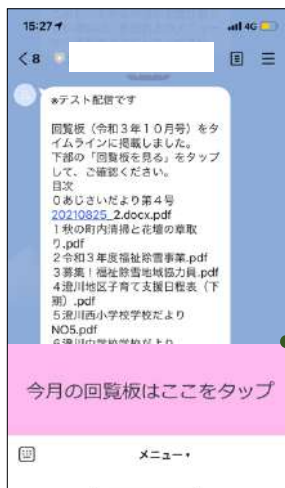
●LINE公式アカウントを活用した電子回覧板 (札幌市手稲区)

回覧板の概要を伝える文章と回覧板を画像にしたものをアップします。



●LINE公式アカウントとホームページを活用した電子回覧板(札幌市南区)

- 会員にアンケート調査を行ったところ、「デジタルツール」を活用した情報発信を望む声があり、マンションの居住者にも、町内会の情報を届けやすくするため導入した。
- 澄川第7町内会では紙の回覧板と併用して、LINE公式アカウントによる回覧内容の概要を配信している。



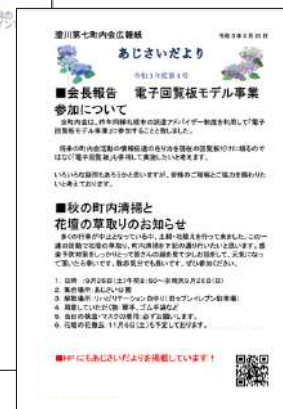
LINE公式アカウント

ピンク色の
バナーをタップ



地区連合会のホームページ

回覧物のデータが見られる!



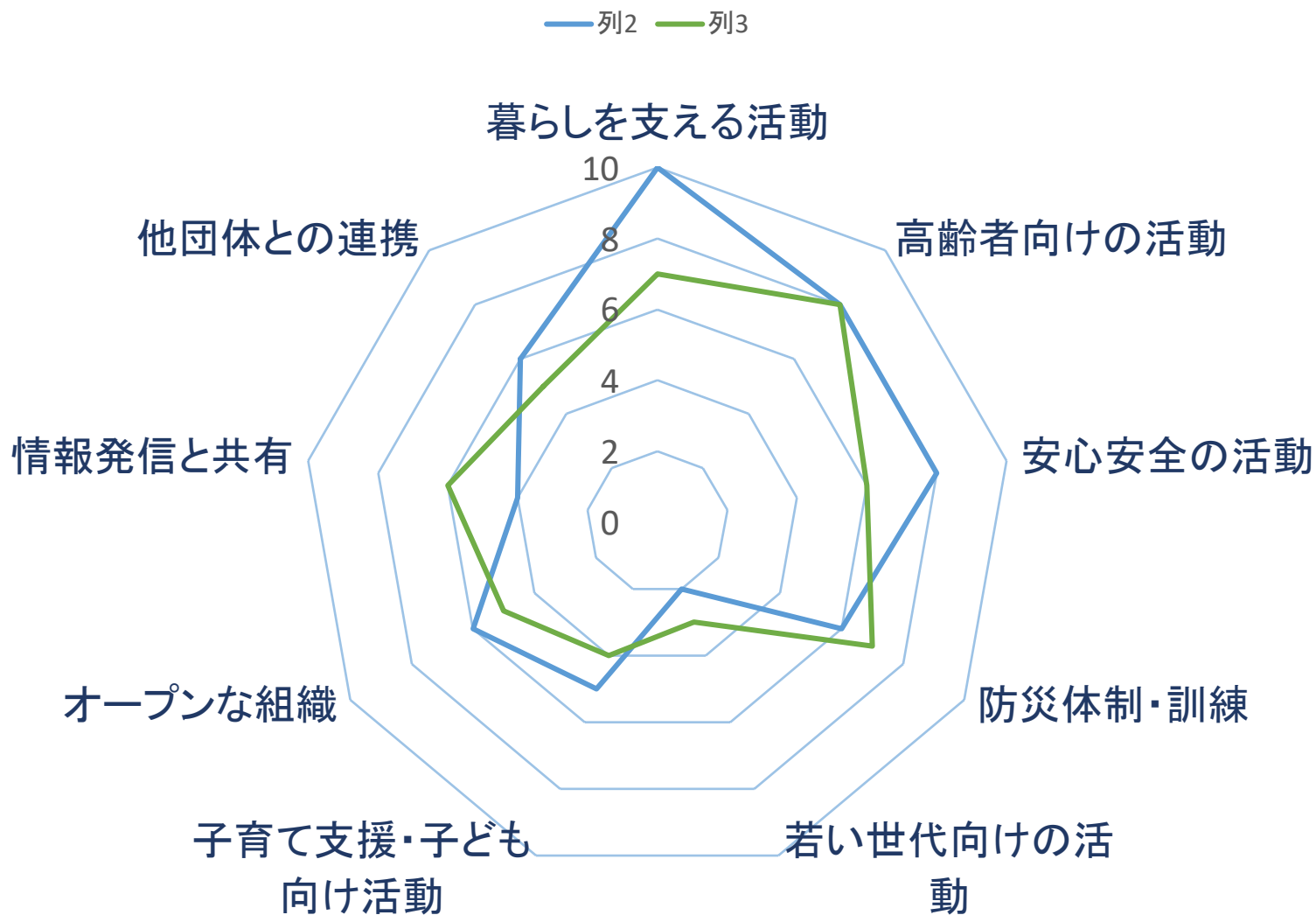
④ デジタル化で若い世代に参画してもらいましょう

- できないことを高校生や学生さんをお願いしましょう！
- しっかりと役割分担を明確にしてお願いしてみることで、「それならお手伝いできるかも」という方が出てくるかもしれません。

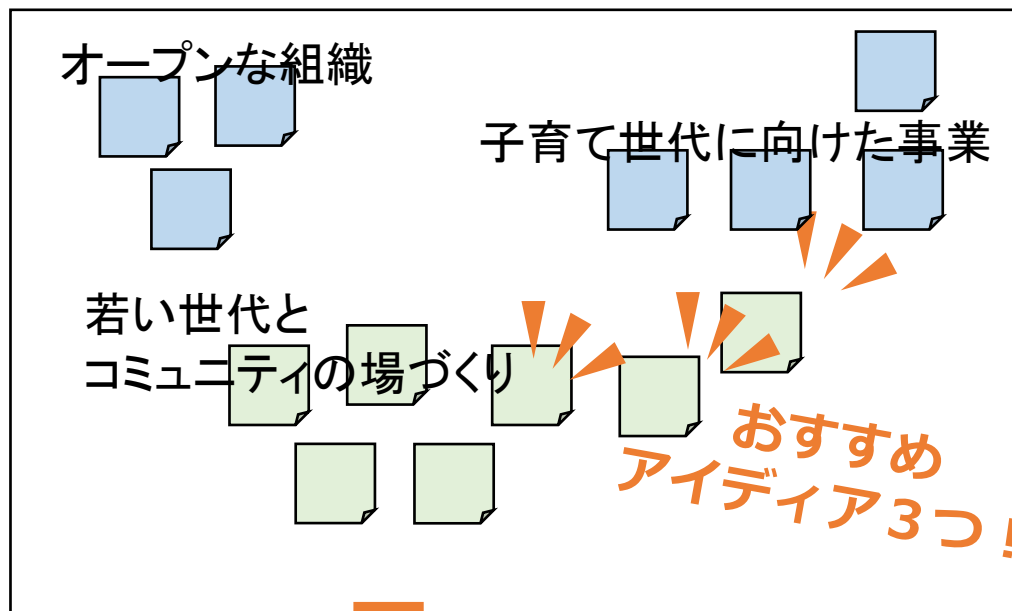


ワークショップ

レーダーチャートで町内会活動の現状を共有しましょう



レーダーチャート見ながら、町内会活動について思うことなどを意見交換しましょう



~~~のために  
~~する

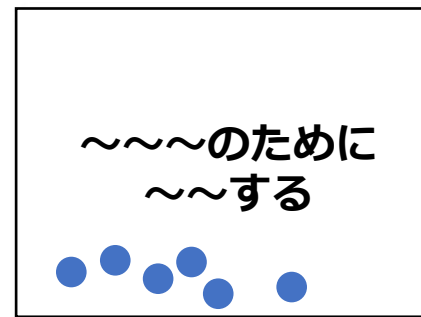
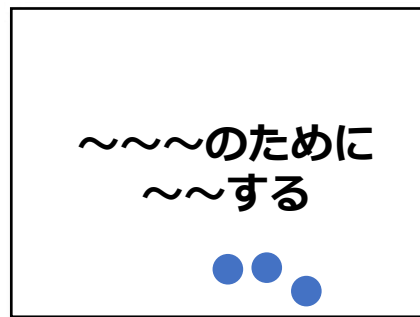
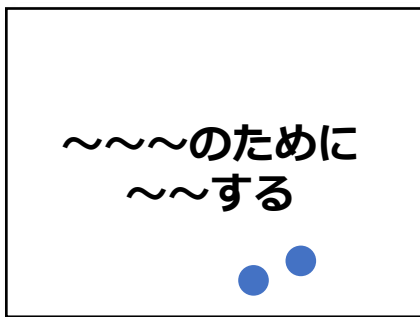
~~~のために  
~~する

~~~のために  
~~する

A4の用紙に書いてください

# 投票！

「いいね！」「やってみたい」と思うアイデアにシール投票をします。



ナンバーワン  
アイデア！

